



花巻市地域公共交通網形成計画を策定しました

機能維持を図ります。

▼市街地循環バス「ふくろう号」の充実

(実施期間 平成30～35年度)
市街地循環路線の運行便数の見直しによる拡充を図り、市街地の利便性を高めます。

2 効率的かつ持続可能な交通手段への転換と交通不便地域の解消

▼予約応答型乗合交通の改善

(実施期間 平成29年度)
石鳥谷地域では、2月から当日予約が可能なシステムの導入と運行時間の拡大を実施。予約応答型乗合交通の利便性が向上しています。

東和地域では、10月から当日予約が可能なシステムの導入と運行時間の拡大を図ります。さらに、予約応答型乗合交通が運行されない早朝および夕方の移動手段を確保するため、スクールバスに一般の人が乗車できる制度を導入します。

これに伴い、利用者が少ない状況となっていた東和地域の市営バス

スの運行を廃止します。

▼予約応答型乗合交通の拡大

(実施期間 平成30～35年度)
事業者による維持が困難になった支線路線に、順次予約応答型乗合交通への転換を実施。効率化と交通不便地域の解消を図ります。
大迫地域では、事業者による支線路線バスの廃止が平成30年10月に見込まれているため、予約応答型乗合交通の導入を視野に、地域住民への説明を行っていきます。

3 市民や来訪者の快適な移動をサポートする乗り継ぎに配慮した公共交通網の形成

▼主要な観光地を結ぶ路線の維持

(実施期間 平成29～35年度)
中心市街地と本市の主要な観光地である花巻温泉郷を結ぶ路線を維持。市民と観光客の移動手段を確保します。

▼交通結節点の整備

(実施期間 平成30～35年度)
路線バスと予約応答型乗合交通

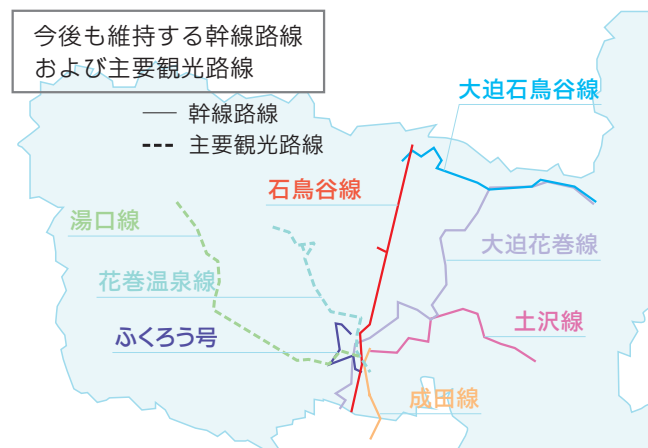
市では、市民の安心・快適な生活をサポートする公共交通網を形成・維持していくこと、さらにそれが本市を訪れる観光客にとっても利便性の高いものとなることを目指し「花巻市地域公共交通網形成計画」を策定しました。

計画の目的

市内の路線バスは、人口減少や自動車の普及などにより利用者が減少。多くの路線でその維持が困難になっています。

このような状況の中で、市内の路線バスを運行している民間バス事業者は、将来的に一部の路線廃止の方針を打ち出しています。市では、路線の廃止を市全体の課題としてとらえ、皆さんの日常生活における交通手段を確保し、市全体の公共交通網を支えていく必要があると考えています。

本計画では▼花巻・大迫・石鳥谷・東和の各地域を結ぶ幹線バス路線を維持していくこと▼各地域の支線バスの運行が困難になった場合に予約応答型乗合交通を導入



との結節点となる乗り継ぎ拠点の待合環境を改善。市民や来訪者の快適な移動環境を整備します。

4 分かりやすい情報発信と利用促進

▼分かりやすい情報発信と利用促進

(実施期間 平成29～35年度)
事業者や地域と協働で各種メディアを活用した情報提供を行い、利用促進を図ります。

「大迫石鳥谷線」臨時無料バスの利用者を募集します

大迫石鳥谷線の利便性を広く知っていただくため、石鳥谷夢まつりと大迫あんどんまつりの開催に合わせて復路の臨時無料バスを運行します。

復路臨時無料バスは大迫石鳥谷線の経路を運行し、各バス停に停車します。

【対象】当日の往路に同路線を利用した人

【定員】各日35人

【申込期間】7月18日(火)～8月4日(金)

【申し込み方法】大迫バスターミナル、石鳥谷駅、各総合支所、各振興センターに設置する申し込み用紙(チラシ裏面)に必要事項を記入し、持参または郵送、ファク

運行日	出発時間	運行区間
8月13日(日) 〔石鳥谷夢まつり〕	午後9時10分	石鳥谷郵便局前発 大迫中学校前着
8月14日(月) 〔大迫あんどんまつり〕	午後9時10分	大迫保育園北側発 石鳥谷駅前着

* 石鳥谷夢まつりが雨天延期した場合、13日は運行せず、延期日の15日(火)に運行します

スで本庁都市政策課へ提出

※申し込み用紙は市ホームページからダウンロードもできます。詳しくはチラシ、市ホームページをご覧ください
く本庁都市政策課へお問い合わせください

四つの基本方針

1 まちづくりと連携した公共交通網の確保

▼地域間をつなぐ幹線路線の維持
(実施期間 平成29～35年度)
花巻市立地適正化計画で掲げる拠点間をつなぐ路線を幹線路線と位置付け、事業者と協力しながら

することなど、今後取り組む公共交通施策を示しています。

